

会 議 録

会議の名称	第 1 期 小金井市地域自立支援協議会（第 3 回）
事務局	福祉保健部障害福祉課、地域生活支援センターそら
開催日時	平成 21 年 10 月 29 日（木） 午後 2 時 00 分から午後 4 時 00 分
開催場所	小金井市市民会館（萌え木ホール）B 会議室
出席者	【委員】 伊藤良子委員(会長)、越永至道委員、森田純司委員、大久保昌弘委員 矢野典嗣委員、秦郁江委員、富澤淳一委員、山田満里子委員、 久芳和孝委員、中村悠子委員、経澤利子委員、佐久間育子委員(副会長) 【事務局】 障害福祉課課長補佐 林利俊、相談支援係長 高田明良、 障害福祉係 澤畠武士、相談支援係 吉田雄哉 地域生活支援センターそら 施設長 熊倉弘子、伊藤奈保子
傍聴の可否	可
傍聴者数	0 人
会議次第	別紙会議録のとおり
会議結果	別紙会議録のとおり
提出資料	添付のとおり

平成 21 年度第 3 回小金井市自立支援協議会 議事要旨

日時：平成 21 年 10 月 29 日(木) 14：00～16：00
場所：小金井市市民会館（萌え木ホール） 3 階 B 会議室
出席者：協議会委員 12 名（欠席 1 名）
福祉保健部長
障害福祉課課長補佐
障害福祉課相談支援係長
障害福祉課障害福祉係
障害福祉課相談支援係
地域生活支援センター そら（2 名）

- 配布資料 1：小金井のネットワーク(精神) →富澤委員
2：「小金井市手をつなぐ親の会」「特定非営利活動法人 さくら会」パンフレット →山田委員
3：「障害のあるきょうだいとともに」武蔵野市地域自立支援協議会主催 →山田委員
4：「板橋安心ネット」パンフレット（両面）、協力期間・施設一覧（両面） →山田委員
5：ハローワーク立川からの各種資料 →経沢委員
6：「小金井市障害者地域自立生活支援センター」 →森田委員
7：小金井アートフル・アクションについて →久芳委員

開催にあたり、事務局より資料の確認。
会議録は委員名記名となることを伝えた。

1. 開会

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none">・出席者 9 名（欠席 1 名）より、協議会は成立とする。3 名より遅刻連絡あり（その後 3 名出席にて、計 12 名の出席）。・はじめに、小俣福祉保健部長より挨拶。
小俣福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none">・政権交代により、障害者自立支援法が廃止の方向となっているが、法改正までは 3 年近くかかる見通し。今後めまぐるしい変化が予想される。・議会の中では、発達相談センターに対する要望が多くある。子ども家庭部が主になって、調査・研究に入っている。障害福祉課もともに進めていくこととなっている。「ピノキオ幼稚園」の建替えも予定されているが、今後総合的な発達相談が実施できるようにしていきたいと考えている。・市内にある各種相談支援センター（地域包括や生活、就労、子ども家庭）の体制づくり（つながり）を検討している。年に 2 回程度、連絡会を設け、相互に情報の共有ができる場を作り、何かの時にはお互いが助け合えるようなネットワークづくりを検討している。協力をお願いしたい。

2. 議題

(1) 各団体の紹介及び現状（ネットワーク等）課題について

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none">・ 前回の協議会の中で、専門委員会の設置について協議を重ねたが、結論とはならず、もう少し協議を重ねることとなった。まずは、それぞれの機関のネットワーク機能を向上していくために団体が持つネットワークなどについて共有することが必要という認識に至った。・ そこで、本日は委員各位が所属する団体における現状や課題を報告していただき、一人ずつ意見や質問の時間をとっていくという形式で進めていきたい。まず、富澤委員から願います。
富澤委員	<ul style="list-style-type: none">・ 資料（「小金井のネットワーク(精神)」）の内容について報告。→内容については、別紙資料参照。・ 現在、「精神障害者の生活支援を考える会」にて作成中の『小金井こころの安心マップ（パンフレット）（仮）』を回覧。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none">・ 精神の活動紹介があつたが、様々な連絡会があることがわかった。・ 質問等あればお願いしたい。
富澤委員	<ul style="list-style-type: none">・ 「生活支援を考える会」は、家族・当事者・関係者などが集まり、様々な話ができる場。「施設連絡会」は、施設関係に関する場。「りんくの会」は、就労に関する場。・ 「生活支援を考える会」は、毎月 1 回開催されている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none">・ 課題となっていることはどのあたりだと思うか。
富澤委員	<ul style="list-style-type: none">・ グループホームや配食サービスなど制度の面では、充実してきているが、精神障害者に対する理解がなかなかうまく進んでいない現状がある。・ 講演会を実施するなどの機会は設けているが、結局、関係者ばかりが集まる状況となってしまう。・ 「地域生活支援センターそら」を中心に、各施設の紹介のDVD作成に向けて動いている。・ 『小金井こころの安心マップ（パンフレット）（仮）』が完成次第、公民館などに依頼しながら、理解を深めてもらえるよう努めていく予定。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none">・ (精神障害への啓発活動としては) 昨年の“障害者週間”の特別講演会として、「多摩総合保健福祉センター」の向山課長へ依頼し、市民の方々を対象にうつ病についての講演会を実施。・ 庁内研修としても、来月 11 月 16 日・17 日の 2 日間同じ内容で、富澤委員を講師とし、精神分野の勉強会を実施する。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 「生活支援を考える会」から長い間かけて出された要望が実現し、精神障害者の配食サービスが最大 5 日間（月～金）利用できるようになった。・ 配食サービスを利用されている方の生活安定のみならず、安否確認にも大きく役立っている。・ 精神障害のある人だと配食サービスが週 5 日利用できるが、高齢者の配食サービスへと移行すると週 3 日の利用となってしまう現状がある。サービスの移行時に必要なサービスが行き届かなくなってしまう。・ 障害高齢者支援についても課題となっている。

富澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・障害のある人が高齢になった時のサポート体制を考えていかなければならない。 ・現在、“退院促進事業”が進んでおり、病院から退院した段階で 65 歳近い人も多い。また、障害のサービスを利用しながら生活が安定している方が、65 歳になってサービスの切り替えとなってしまうことについての課題もある。
小俣福祉保健部長	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の配食サービスは、高齢者施設（本町センター）が配食サービスを提供。要綱上、3 日以上増やすことは可能ではあるが、キャパシティの問題や 1 食当たり 1,400 円程度かかっている現状がある。 ・ただ、サービスの充実は、障害のある方々だけではなく、高齢者の方々にとっても必要であり、本町センターと民間の業者をどのようにつなげていけるか、検討を重ねている状況にある。限られた予算でどのようにやりくりしていくのかということはあるが、市の課題として検討は続けている。必要に応じて、皆さんと意見交換をしていきたいと考えている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、質問がなければ、続いて山田委員から紹介をお願いしたい。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「小金井市手をつなぐ親の会」「特定非営利活動法人 さくら会」のパンフレットを紹介。「親の会」を母体とした法人格の「さくら会」となっており、常時 2 種類のパンフレットを持参し、紹介している。 ・小平市では、『誰でもサポーターになれます』という知的障害の特性を理解してもらえるパンフレットを作成しており、許可を得て、そのコピーを利用させてもらいながら小金井警察署(安全課)をはじめ、小金井消防署へ啓発活動を実施。 ・「東京都知的障害者育成会」（都内地域に発足した「親の会」の連合体）で作成している冊子を活用し、交番や地域の店などへのアピール活動も実施。 ・学校卒業後の進路がないことから、「(略) 育成会」の指導を得ながら、民間の任意団体として小規模作業所を運営してきた。「さくら作業所」がいっぱいになったら、第二・第三と作業所を増やして、手狭になると、移転・改修を実施しながら、より多くの人が利用できるよう努めてきた。 ・現会員は約 180 名であるが、学齢部の会員はたったの 15 名。会員が高齢化し、若いお母さんが入会されないことが一番の課題となっている。これは、小金井市に限って起きている現象ではなく、東京都全体でも同様の課題がある。 ・その他の資料についての紹介。→内容については、別紙資料参照。
久芳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・『いたばし SOS カード』のようなものは、小金井市にはないのか。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「東京都知的障害者育成会」にて作成を検討している。小金井市独自では、作成の検討には至っていない。
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市の就労支援センターとの連携はどのようになっているか。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「就労支援センター ころろ」から作業所利用者の紹介はある。また、作業所の方からも、就労支援センターを通して一般就労を目指したり、庁内の職場体験実習を利用している。 ・「さくら会」は小規模作業所ではあるが、障害者自立支援法上は就労継続支援 B 型へ移行している。

佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「就労支援センター ころ」は、3 障害対応。富澤委員の資料に加えられている NPO 法人「りんく」へ事業委託し、平成 19 年 12 月に開設した。 ・特別支援学校の卒業生については、担当教諭・当事者の方と障害福祉課の相談支援の係が話し合いを重ね、就労支援センターと連携しながら、就職先についての検討を進めている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題として挙げられていた若いお母さんたちの入会がないというのは、どの辺りが問題だと思うか。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学齢期を対象とした放課後支援や夏休みのバスハイクなど学齢部の活動に力を入れてやっているところではあるが、なかなか難しい。 ・情報はほしいが、会員となると役員が回ってくるから大変になってしまい、役員をしてもあまりメリットもない、などの理由を耳にしているため何とか工夫していきたいと考えている。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・矢野委員から、何かアドバイスはないか。
矢野委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学校でも地域の「親の会」への入会はすすめているが、なかなか難しい現状。かつては、会員になることで情報を得る時代だったが、現在はインターネットの普及もあり、情報を多く得られるようになったため、このような現象が起きていると思われる。 ・地域で卒業後の生活を考えた時には、どうなのだろうかという話しは重ねているが、目の前の日々追われている現実には精一杯な様子で、なかなか難しい状況。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・就労の話しも出たということもあり、続いて経澤委員から紹介をお願いしたい。
経澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料の説明。→内容については、別紙資料参照。 ・景気の悪化に伴い、求人数減少。7 月に完全失業率 5.7%まで落ち込んだ。障害のある人の専用求人も同様に落ち込んでいる。 ・就労支援センターが各自治体に設置されているため、それぞれの支援機関へ紹介する形で対応している。企業側からも、支援機関がついている方が安心という話しがあがっており、それを希望される企業も増えている。 ・プログラムとして知的障害の方を対象としたグループワーク（ビジネスマナー等）やハローワークを利用した現場実習や面接などの実施を行っている。 ・生活保護との関係もあり、最低賃金が改正され、10 月 1 日現在、時給 791 円になっている。
久芳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企業が障害のある人を雇わなくても、作業所などに仕事を依頼するという考え方はできないのか。 ・パソコンができるとは言っても、会社の書類全てができるという訳ではない。しかし、部分的な仕事であれば、利益を得ることができるのではないか。
経澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特定子会社などの新しい企業もでき、障害者雇用もされている。そこでは、例えば名刺作りやレンタル鉢植えなどを行っているところもある。久芳委員がご発言になられた、個人のつながりから仕事を受託して利益を上げるものも含めて仕事の形は様々にある。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ハローワークはあくまでも雇用形態（雇用者と労働提供者による最低賃金を保証した雇用契約）。また、一括契約といって、〇〇枚仕上げて〇〇円という提示の（内職のような）ものもある。こうした内職作業的なものについては、授産施設や刑務所内の作業として行われてもいる。ただ、この不況下において、企業からの依頼自体が激減している。
久芳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、市長が配る名刺一つをとっても、障害のある人が作成していることをアピールすることで、障害についての理解をしているということもでき、両得なのではないか。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・市の職員で、作業所などへ名刺を依頼している職員は多くいる。しかし、障害のある人が作成していることを表記すること自体が難しい。
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書の書き方についての相談が多くある。18歳から引きこもっているような方など、職歴やブランクから書類でひっかかってしまう。
経澤委員	<ul style="list-style-type: none"> ・履歴書については、虚偽は推奨できない。書類審査がある一般競争で残ることは難しいため、書類審査のあるようなところは勧めない。 ・その方の現状に応じて、個別に企業へ調整しながら対応している。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、質問等がなければ、続いて、森田委員から紹介をお願いしたい。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・資料についての説明。→内容については、別紙資料参照。 ・指定相談支援事業所のみの業務を実施しているため、来談者が相談→ニーズの確認→アセスメント→計画をたてる→会議→モニタリングという流れで行っている。介護保険のように構造化されたものではないが、ケアマネジメントに関する業務を行っている。 ・また、「さくら会」の本人部会のサポートを実施。大変行動的な団体であり、“障害者週間”の活動の一環として JR・西武鉄道へポスター掲示の依頼を企画。掲示場所や数を拡大しながら一昨年より継続的な実施となっている。
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスを繋ぐケアマネジメントというような役割を果たしているのか。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメントと言う程、構造的なものではないが、必要に応じて対応している。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・課題となっていることはどのあたりだと思うか。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・課題は多くある。2名体制のため、なかなか動けていないことや「障害者福祉センター」の機能を活用しきれていない部分もある。5年間で経過し、ようやく地域資源の把握ができ、障害福祉課の相談支援係の協力を得ながら、支援に当たっている状況。 ・昨年から女性のスタッフが加わり、女性の相談も増えている。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・5年が経過し、また「障害者福祉センター」の中で併設されていることもあり、それぞれ連携を図りながら業務を遂行してもらっている。 ・人員配置の中にあるピアカウンセラーについて、市民の方々への周知が必要とを感じるが、その周知の方法も検討していく必要がある。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・時間となったため、次回も引き続き報告をお願いしたい。団体推薦以外の委員の方については、今後地域自立支援協議会で議論を重ねる必要がある小金井市の課題について提案をお願いしたい。

	<ul style="list-style-type: none"> ・武蔵野市の地域自立支援協議会の参考資料のような、他市での動きを紹介してもらうことも必要。
秦委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小金井市の現状について勉強をしているが、例えば小金井市に転居した際、一覧でわかる資料はないのか。教育の問題・生活の問題・就労の問題と様々な悩みのある中、バラバラに見ていくのは大変。 ・精神の分野でマップ作りをしているが、精神だけではなく、それを1つにまとめてあると便利。今日の報告を聞いていても、全体像が分からない中、個別の相談支援機関の状況を聞いても理解が難しかった。今後、この協議会の中で、検討できるとよいのではないか。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・リンクしている部分は多くあるので、その辺りを整理できるとよい。簡単な冊子はあるが、さらに今日の活動報告などをとりまとめ、一覧になると充実したものができると思われる。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・小俣福祉保健部長から先程報告があったが、各支援センター（相談支援）の連携を図ることが大切。年2回予定されている会議の中で、同様の話しは出てくると思われる。それをまた協議会へあげ、一覧表の作成など検討をしていきたい。 ・（サービス利用等をまとめたものとしては）障害福祉課では、手帳取得者に限るが『障害者福祉のてびき』を配布している。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の報告をよろしくお願いいたします。

（２）その他

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他、議題としてあげたいことについてはどうか。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし。

３．その他

伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・事前提出されている“小金井アートフル・アクション”の資料について、久芳委員から報告をお願いしたい。
久芳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・12月に・・・ということにはなっているが、現状、何も決まっていなため、報告はない。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・久芳委員の資料の内容は、“障害者週間”実行委員長でもある山田委員とコミュニティ文化課の鈴木氏の間で何か話しは進んでいるのではないか。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・企画が何も決まっていな段階であり、特に進展はない。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・その他ご意見等はどうか。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年同様“障害者週間”で、今年もネットワークの意味も込めて何かやってもよいのではないか。
山田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・“障害者週間”のポスター展示（ふれあい広場）に合わせて、『こころのマップ』にある障害の特性を記したページを拡大コピーし、パネル展示を予定。 ・「障害者センター」の相談員のパネルも作り、こういう人たちが相談を受けて

	<p>いるということを周知したいという意向にも、了解をいただいている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・“地域で暮らす”をテーマに講演会を実施することになっていることもあり、それに伴い、グループホームのパネル展示を検討している。 ・いずれも講演会の会場へもパネルを展示し、そのパネルの内容についての質問に答えられる人員を配置することになっている。講演会だけではなく、パネルを見る時間も 30 分程度予定している。
森田委員	<ul style="list-style-type: none"> ・この地域自立支援協議会の中でも協議していることにも触れながら、“障害者週間”のアンケートの中に、障害の「害」の字について意見をもらえる機会とするのはどうだろうか。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・“障害者週間”の講演会は、阪神淡路の震災を京都で経験されている「学芸大学」の加瀬先生に依頼し、市民の方々の目線でどのようなサポートができるかということを中心に講演会をしていただくことになっている。 ・次回（11/19）の自立支援協議会の中で、“障害者週間”の進捗状況等については、山田委員から報告してもらう予定とする。 ・（障害者週間講演会のアンケートに、障害の「害」の字についての意見を入れてみてはどうかという）森田委員からの提案については、アンケート作成は既に入っている段階で、時間的にも、また市民の方々へ問う内容としても難しい面がある。 ・「害」の字に対しての意見については、協議会の現段階での結論として各委員へ持ち帰って意見集約していただく形になっているかと思う。まずは、その意見を協議会の中で出してほしい。それを固めた上で、市民の方々へ問う機会をもってもよいのではないかと思う。今回は難しい。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次の機会で、検討することに。
久芳委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「害」の字については、自身のブログでアンケートを実施しているところである。 ・身体の方では、ほとんど関係ない（どちらでもよい）という見解。それ以上はない。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・次回の日程について、事務局から報告をお願いしたい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・11月19日(木)14:00～ 前原暫定集会施設2階B会議室にて。 ・第5回1月21日(木)は、今回と同じ（萌え木ホール）会場。 ・議題内容について市報に掲載予定であり、議題内容について検討していただきたい。
伊藤会長	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとつは、今回の引き続きの内容となるが、その他ご意見をお願いしたい。
佐久間副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・「市内各団体の紹介及び現状と課題」とするのはどうか。
一同	<ul style="list-style-type: none"> ・異議なし。

以上